

I 北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

②中高齢者が地元でいきいきと働き続けられるための取組

⇒中高齢者の就業支援

事業名等	概要	K P I（平成31年度） ※K P I =重要業績評価指標	K P I 実績	
介護ロボット等導入実証事業（地方創生推進）	介護施設において介護ロボット等を導入し、単に効率だけでなく、職員の負担軽減と入居者の自立支援、さらには職員の専門性や働きがいを高める「先進的介護」の実現を目指す。	介護ロボット等の実証台数や実証結果に基づく開発・改良台数：3台（H28年度）⇒9台（H29～H31年度）	H27	—
			H28	11台

⑤ロボット・自動車産業などリーディング産業の振興を加速化

⇒ロボット産業について、国が2020年までに達成を目指すこととしている、製造分野での市場規模2倍、非製造分野で市場規模20倍に貢献する研究・実証拠点の形成、及び関連産業の集積

事業名等	概要	K P I（平成31年度） ※K P I =重要業績評価指標	K P I 実績	
介護ロボット等導入実証事業（地方創生推進）【再掲】	介護施設において介護ロボット等を導入し、単に効率だけでなく、職員の負担軽減と入居者の自立支援、さらには職員の専門性や働きがいを高める「先進的介護」の実現を目指す。	介護ロボット等の実証台数や実証結果に基づく開発・改良台数：3台（H28年度）⇒9台（H29～H31年度）	H27	—
			H28	11台

⑧アジア諸国における保健福祉分野での新たな国際貢献

⇒研修・視察等の受入れと市内で人材育成を行う仕組みづくり

事業名等	概要	K P I（平成31年度） ※K P I =重要業績評価指標	K P I 実績	
アジア諸国の保健福祉分野の人材育成事業	今後、介護サービス需要の増加が予想されるアジア諸国に対し、医療・介護等保健福祉分野の人材を育成し、支え合いの制度や仕組みの構築・運用の支援を行う。	研修等受入人数 80人（H27年度）⇒ 累計400人（H31年度）	H27	80人
			H28	累計165人

Ⅱ 北九州市への新しいひとの流れをつくる

① 首都圏などからの北九州への大規模な人材還流

⇒首都圏等のアクティブシニアの北九州市への新しい人の流れをつくり、定住・移住の積極的な推進と地域経済の活性化を図る「北九州市版生涯活躍のまち」構築への取組

事業名等	概要	K P I（平成 3 1 年度）	K P I 実績	
高齢者いきがい活動ステーション連携事業（地方創生推進）	いきがい活動ステーションと移住コーディネータが連携し、首都圏に向けた情報発信を行うとともに、年長者大学校や生涯現役夢追塾の体験講座等を実施する。（平成 29 年度開始）	いきがい活動ステーション利用者数： 21,200 人（H28～H30 年度）	H27	—
			H28	4,456 人
介護ロボット等導入実証事業（地方創生推進）【再掲】	介護施設において介護ロボット等を導入し、単に効率だけでなく、職員の負担軽減と入居者の自立支援、さらには職員の専門性や働きがいを高める「先進的介護」の実現を目指す。	介護ロボット等の実証台数や実証結果に基づく開発・改良台数： 3 台（H28 年度）⇒ 9 台（H29～H31 年度）	H27	—
			H28	11 台